

## ひらめき箱(意見・要望等)対応状況

番号	12	開封日	平成26年7月1日
ご 意 見			
<p>去る6月16日、海外在住者の安否確認の件で市役所に問合せました。その日回答として、頂いたのが「警察にご相談ください」旨でした。それで、翌日警察で相談に行こうと思いましたが、よく考えたら誰でもわかる「捜索」になり、何ヶ月もかかるし、又受付けてくれないかも知れないと思いました。それにかかる時間も費用も無駄になると思い、再度市役所に、その旨伝えましたら、再度検討の上連絡しますとのことでした。</p> <p>翌日、暮らしの相談室から連絡があり、無駄の無い回答を得ました。市民は、困ったことはまず市役所から始まることとなります。それを、市とは関係ないので県に振るというのは、市役所の存在が疑問となります。市民の問い合わせには、自分たちには関係ないではなく、親身に確実に考えられる最良の方法を回答して欲しいと思います。(分かりやすく結論として、最初の答えと二度目の回答が違ったことを述べました。その違いは、時間と費用が大きく違うということです) 今回の、暮らしの相談室の外務省への問い合わせの結果で良く分かりました。個人ではなかなか外務省まで連絡取るのは難しいですから。ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">(投函日 平成26年6月18日)</p>			
回 答			
<p>ご意見ありがとうございます。今回のご意見には市民課から回答させていただきます。</p> <p>「困ったことはまず市役所から始まる」との考えに感謝申し上げます。市役所は市民の皆様に寄り添い、安心、安全を守るものと考えております。今後も市民の皆様の期待に応えられるよう努力してまいります。</p> <p>しかしながら、今回の対応で、不十分な事があったようですので更なる努力の必要性を感じております。お詫びを申し上げますとともに、市民の皆様に寄り添った対応を行ってまいります。</p> <p>ご意見ありがとうございました。</p>			